



議会の使命とは何?

議員研修会
開催

三月三十日、県町村議会議長会事務局長、篠原誠一氏を講師に招き議員研修会を開きました。議会改選直後ですのでもそもも議会・議員は何のためにあるのか、また議員としてのモラルなど議会運営のあり方について学習しました。議会また行政用語は、関係者以外には分かりづらい言葉が多く、新人議員から活発に質問が出され、先輩議員も初心に立ち返る意味で大いに役立つ研修でした。

学習の主なポイント

- ① 議会の使命は大きく二つ? ② 地方公共団体の具体的政策を最終的に決定すること。
- ③ 解説Ⅱ主に町長が提案する議案に対する質問・質疑などを行い予算・契約・条例などの審議を行い最終的に賛成か反対か判断すること。
- ④ 議会が決定した政策を中心に行う行政の事務処理、事業実施などが適法・適正に、しかも公平・効率的に、そして民主的になされているかどうかを批判し監視することである。

いろはにほへと 12

を 老いては子にしがたい

老(を) いては、をは元々おであったが、をを使う言葉が見当らず、流用したらしい。この文句が作られた経過からすると老(を) が正しいと言えるが、江戸時代中期以後からと、おの言いまわしの上での区別はなくなっていたらしい。言葉は世の中の変化発展とともに、どんどん変わってしまうのだから、古い言葉を正しいとして国語の乱れを言うのは、復古主義の一人よがりだということにもなる。新しい良い世の中は若者がつくる。若者の言うこと、なすことを肯定しようという意味でなかなか、良い言葉である。

編集後記

二月の議会改選を受けて、新議員の参加もあり、大津町議会は活発さをさらに増したようです。とりわけ一般質問で十二名も発言、討論したのは、多分過去最高ではないでしょうか。そして議会傍聴も沢山来ていただいて、議員も大いに張り合いがあった初定例会でした。

議会広報委員は、三人の新議員を含む、計五名でスタートします。議会だよりは年四回発行ですから今号で丸八年経過しました。

議会広報編集特別委員会

委員長 荒木 俊彦
副委員長 吉田 忠道
委員 坂本 典光
新開 則明
鈴木 ムツヨ



新体制で編集に取りくむ広報委員会

町民のためにはたらく議会、その議会のありのまをよりリアルに伝えられたらと考えています。つつじ祭りも好天にめぐまれ無事終了しました。特に、中心街の歩行者天国は心楽しいものです。議会だよりが、議会と町民のかけ橋になるよう努力します。町民の皆さんのご意見などお寄せいただければ幸いです。

(荒木)

この議会だよりはリサイクル推進のため古紙一〇〇%の再生紙を利用しています。